

コミバス利用者アンケート調査 集計結果

1. 調査概要

- ・目的：コミュニティバスたけまる号の利用促進実施に向けて、そのターゲットを明確化することを目的とし、利用者特性（利用者の属性、利用目的、利用頻度など）を把握するためのアンケート調査を実施する。
- ・調査対象：菘の台線、西畑・有里線、門前線の各利用者対象
- ・調査方法：【配布】車内に配架 【回収】ドライバーへ手渡し
 - ※各路線の主要停留所に WEB 回答用チラシを掲示
 - 菘の台線：業務スーパー南生駒店、神田橋西、菘の台駅
 - 西畑・有里線：業務スーパー南生駒店、神田橋西、南生駒駅
 - 門前線：生駒駅南口、梅寿荘、門前駐在所
- ・調査時期：令和7年12月9日（火）～12月26日（金）
 - ※菘の台線：9日分の運行
 - 西畑・有里線、門前線：14日分の運行
- ・回収数：菘の台線：11部
 - 西畑・有里線：7部
 - 門前線：33部
- ・調査項目：
 - <共通>
 - ・利用状況（利用頻度、利用目的、利用区間、目的地、利用曜日、利用時間帯）
 - ・利用する理由
 - ・路線が無くなった場合の移動手段の有無、代替手段、外出頻度
 - ・個人属性（性別、年齢、職業、お住まい、免許保有状況・運転状況、送迎を頼める人の有無、外出時の付き添いの必要性）
 - <菘の台線のみ>
 - ・8月実施の100円DAYによる利用状況の変化（開催中、開催後）

2. 結果まとめ

調査結果のうち、特徴的なものを以下に整理した。

【現在の利用状況と利用者の特徴】

- ・ 門前線は、利用頻度が高いヘビーユーザ（週に2日以上）が75.7%と多い。
西畑・有里線は、利用頻度が少ないライトユーザ（週に1日以下）が57.2%、萩の台線も72.7%とライトユーザが多くなっている。
 - ・ 利用目的は、3路線ともに買い物や通院が50%以上と多い。それ以外では、萩の台線は銀行や役所などが45.5%、門前線では趣味・娯楽・交流が42.9%、西畑・有里線では銀行・役所などと趣味・娯楽・交流がどちらも33.3%と多くなっている。
門前線は、通勤目的でも21.2%と一定の利用があった。
 - ・ 利用理由は、3路線ともに、徒歩移動の困難であることと代替交通手段がないことが多い。
 - ・ 利用者の属性は、3路線ともに、高齢者（西畑・有里線と萩の台線は、特に75歳以上の後期高齢者）で、免許を現在保有していない方が多い。
門前線は、65歳未満や免許を保有している方の利用が、他路線より多くみられる（通勤目的と思われる）。
- ⇒門前線と比較すると、西畑・有里線や萩の台線において、既存ユーザの利用頻度を増やす取組や、新たなユーザ（高齢者以外のユーザ、免許を保有している方など）を獲得する取組を通じて利用者を増やす伸びしろがあることがわかる。

【萩の台線における運賃100円DAYの効果】

- ・ 萩の台線では、8月の運賃100円DAYを実施したことで、割引期間終了後の9～11月において、以前よりも利用頻度が増えたという既存ユーザの回答が3件、イベントがきっかけで新たにユーザになったという回答が2件あった。
- ⇒運賃割引施策の実施が、既存ユーザの利用頻度の向上や新たなユーザの獲得に繋がることを確認できた。

<調査票>

パソコンやスマートフォンから
もご回答いただけます
→ <https://logoform.jp/f/VYB04>



萩の台線の利用状況に関するアンケート調査

本アンケート調査は、コミュニティバスたけまる号に関する施策検討の基礎資料として活用するために、萩の台線をご利用されている方を対象に、普段のご利用状況についてお聞きするものです。

ご多用のところ、誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力くださいませうようお願い申し上げます。

■ご記入にあたっての注意事項

- ・調査結果の取り扱いについては、この調査以外の目的に使用することはありません。また、統計的に集計しますので、個人を特定することはありません。
- ・記入いただいた調査票は、降車時や次回利用時にドライバーに直接お渡しください。

■お問い合わせ先

生駒市地域公共交通活性化協議会 事務局 生駒市 総務部 防犯交通対策課 公共交通係
(担当) 菊池 城野
電話番号 0743-74-1111 (内線 3420) FAX 番号 0743-74-1196

1. あなたご自身の萩の台線の利用状況についてお聞きします。

主な利用回数 (1つに○)	1. 週に3日程度 4. 月に2～3日程度	2. 週に2日程度 5. 月に1日程度	3. 週に1日程度 6. 年に数日程度	
主な利用目的 (あてはまる 全てに○)	1. 通勤 5. 通院 9. 趣味・娯楽・交流	2. 通学 6. 施設などへの通所 10. その他 ()	3. 銀行や役所など 7. 仕事・業務での移動	4. 買物 8. 地域活動・社会活動
主な乗降バス停 (各1つの番号を記入)	[乗車バス停] () ⇒ [降車バス停] () 1. 南コミュニティセンターせせらぎ 2. 業務スーパー南生駒店 3. 神田橋西 4. 萩の台駅 5. 萩の台自治会館 6. 北浦宅前 7. 馬場宅東 8. 萩の台小山公園 9. 萩の台北の谷公園 10. 萩の台住宅自治会館 11. 萩の台第2公園 12. ロールコートエスタ 13. 萩の台第4公園 14. 萩の台第1公園 15. 萩の台第2緑地 16. 萩の台さつき公園			
主な目的地	(例：○○病院、▲▲スーパー)			
主な利用曜日 (あてはまる全てに○)	1. 火曜日	2. 水曜日	3. 金曜日	
主な利用時間帯 (各1つの番号を記入)	[行き] () [帰り] () 1. 8時台 2. 9時台 3. 10時台 4. 11時台 5. 12時台 6. 14時台 7. 15時台 8. 16時台 9. 17時台 10. 特に決まっていない 11. 利用しない			
萩の台線を利用する理由 (あてはまる全てに○)	1. コミュニティバス以外の交通手段がないため 2. 家族等の送迎に頼らなくてもよいため 3. 徒歩での移動が大変であるため(坂道が急、距離が遠い等) 4. タクシーよりも運賃が安い 5. 自分で車を運転することに不安があるため 6. その他 ()			

図 1 調査票 (萩の台線) 1/2

萩の台線を利用できない場合の移動手段 (1つに○)	仮に萩の台線が利用できなくなった場合 1. 代わりの移動手段がある → 2. 代わりの移動手段がない
	副問) 代わりの移動手段を教えてください (あてはまる全てに○) 1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. バイク 4. タクシー 5. 自家用車(自分で運転) 6. 自家用車(家族等が運転) 7. その他 ()
萩の台線を利用できない場合の外出頻度 (1つに○)	仮に萩の台線が利用できなくなった場合 1. 外出ができなくなる 2. 外出頻度が少なくなる 3. 外出頻度は変わらない 4. 外出頻度が変わるかどうかは分からない

2. 令和7年8月に実施した運賃100円DAYによる利用状況の変化についてお聞きします。

萩の台線では、令和7年8月の全ての運行日で、運賃100円DAY[※]を実施しました。
[※]運賃を100円(小学生以下と障がい者は無料)にするイベント

8月のイベント実施中に萩の台線を利用しましたか？ (1つに○)

1. 利用した → 2. 利用しなかった →


8月のイベント実施によって、あなた自身の萩の台線の利用状況が変化しましたか？ (あてはまる全てに○)

実施中 令和7年8月	1. 実施前と比べて、利用頻度が増えた 2. 実施前と比べて、短い距離での利用が増えた 3. 実施前は利用していなかったが、実施中に利用するようになった 4. 実施前と比べて、その他の変化があった () 5. 実施前と比べて、変化しなかった
実施後 令和7年9月～11月	1. 実施前と比べて、利用頻度が増えた 2. 実施前は利用していなかったが、実施後は利用するようになった 3. 実施前と比べて、利用頻度が減った 4. 実施前と比べて、その他の変化があった () 5. 実施前と比べて、変化しなかった

3. あなたご自身のことについてお聞きします。

お住まい (1つに○)	1. 萩の台 2. 萩の台1丁目 3. 萩の台2丁目 4. 萩の台3丁目 5. 萩の台4丁目 6. 萩の台5丁目 7. その他(町名のみ記入) ()
性別 (1つに○)	1. 男性 2. 女性 3. 無回答
年齢 (1つに○)	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60～64歳 7. 65～69歳 8. 70～74歳 9. 75～79歳 10. 80～84歳 11. 85～89歳 12. 90歳以上
職業 (1つに○)	1. 有職 2. 専業主婦・主夫(パート有り) 3. 専業主婦・主夫 4. 学生(高校生以下) 5. 学生(短大生以上) 6. 無職
運転免許の保有状況・運転状況 (1つに○)	1. 自動車の運転免許を持っていて、自分が自由に使える自家用車を利用している 2. 自動車の運転免許を持っていて、家族で共有する自家用車を利用している 3. 自動車の運転免許を持っているが、自家用車を持っていない 4. 自動車の運転免許を持っているが、普段運転していない(できない) 5. 二輪・原付の運転免許を持っていて、二輪・原付を利用している 6. 運転免許はすでに返納した 7. 運転免許を持ったことがない
車でのお迎えを気兼ねなく頼める人の有無 (1つに○)	1. 家族にいる 2. 近所の人にいる 3. いない
外出の際の付き添いや介助の必要性 (1つに○)	1. 体に負担を感じることなく、自分自身で無理なく外出できる 2. 体はつらいが、何とか自分一人で外出できる 3. 自分一人で外出するのは難しいが、他の人の付き添いがあれば外出できる 4. 付き添いや介助があっても、外出するのは難しい

図2 調査票(萩の台線) 2/2

パソコンやスマートフォンから
 もご回答いただけます → 
<https://logoform.jp/f/914fm>

西畑・有里線の利用状況に関するアンケート調査

本アンケート調査は、コミュニティバスたけまる号に関する施策検討の基礎資料として活用するために、西畑・有里線をご利用されている方を対象に、普段のご利用状況についてお聞きするものです。

ご多用のところ、誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

■ご記入にあたっての注意事項

- ・調査結果の取り扱いについては、この調査以外の目的に使用することはありません。また、統計的に集計しますので、個人を特定することはありません。
- ・記入いただいた調査票は、降車時や次回利用時にドライバーに直接お渡しください。

■お問い合わせ先

生駒市地域公共交通活性化協議会 事務局 生駒市 総務部 防犯交通対策課 公共交通係
 (担当) 菊池 城野
 電話番号 0743-74-1111 (内線 3420) FAX 番号 0743-74-1196

1. あなたご自身の西畑・有里線の利用状況についてお聞きします。

主な利用回数 (1つに○)	1. 週に5日程度 4. 月に2～3日程度	2. 週に2～4日程度 5. 月に1日程度	3. 週に1日程度 6. 年に数日程度		
主な利用目的 (あてはまる 全てに○)	1. 通勤 5. 通院 9. 趣味・娯楽・交流	2. 通学 6. 施設などへの通所 10. その他 ()	3. 銀行や役所など 7. 仕事・業務での移動	4. 買物 8. 地域活動・社会活動	
主な乗降バス停 (各1つの番号 を記入)	〔乗車バス停〕 () ⇒ 〔降車バス停〕 () 1. 南コミュニティセンターせせらぎ 2. 業務スーパー南生駒店 3. 神田橋西 4. 南生駒駅 5. 田口クリニック 6. 南中学校 7. 美努岡萬墓 8. 青山台中央公園 9. 青山台第3公園 10. 青山台集会所 11. レイクサイド入口 12. 西池 13. むかいやま公園入口 14. レイクサイド公園 15. 有里西 16. 円福寺 17. 西公園 18. 竹林寺下(有里町自治会館) 19. 石佛寺 20. やまびこホール下 21. 大福寺 22. 大門町集会所 23. 小倉寺町集会所 24. 鬼取町 25. 西畑町入口 26. 西畑町自治会館入口 27. 暗峠				
主な目的地	例：○○病院、▲▲スーパー ()				
主な利用曜日 (あてはまる全てに○)	1. 月曜日	2. 火曜日	3. 水曜日	4. 木曜日	5. 金曜日
主な利用時間帯 (各1つの番号を記入)	〔行き〕 () 〔帰り〕 () 1. 7時台 2. 8時台 3. 9時台 4. 10時台 5. 11時台 6. 13時台 7. 14時台 8. 15時台 9. 16時台 11. 17時台 12. 特に決まっていない 13. 利用しない				

図 3 調査票 (西畑有里線) 1/2


西畑・有里線を利用する理由 (あてはまる全てに○)	1. コミュニティバス以外の交通手段がないため 2. 家族等の送迎に頼らなくてもよいため 3. 徒歩での移動が大変であるため(坂道が急、距離が遠い等) 4. タクシーよりも運賃が安い 5. 自分で車を運転することに不安があるため 6. その他 ()
西畑・有里線を利用できない場合の移動手段 (1つに○)	仮に西畑・有里線が利用できなくなった場合 1. 代わりの移動手段がある → 2. 代わりの移動手段がない 副問) 代わりの移動手段を教えてください(あてはまる全てに○) 1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. バイク 4. タクシー 5. 自家用車(自分で運転) 6. 自家用車(家族等が運転) 7. その他 ()
西畑・有里線を利用できない場合の外出頻度 (1つに○)	仮に西畑・有里線が利用できなくなった場合 1. 外出ができなくなる 2. 外出頻度が少なくなる 3. 外出頻度は変わらない 4. 外出頻度が変わるかどうかは分からない

2. あなたご自身のことについてお聞きします。

お住まい	町名をご記入ください () 町)
性別 (1つに○)	1. 男性 2. 女性 3. 無回答
年齢 (1つに○)	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60~64歳 7. 65~69歳 8. 70~74歳 9. 75~79歳 10. 80~84歳 11. 85~89歳 12. 90歳以上
職業 (1つに○)	1. 有職 2. 専業主婦・主夫(パート有り) 3. 専業主婦・主夫 4. 学生(高校生以下) 5. 学生(短大生以上) 6. 無職
運転免許の保有状況・運転状況 (1つに○)	1. 自動車の運転免許を持っていて、自分が自由に使える自家用車を利用している 2. 自動車の運転免許を持っていて、家族で共有する自家用車を利用している 3. 自動車の運転免許を持っているが、自家用車を持っていない 4. 自動車の運転免許を持っているが、普段運転していない(できない) 5. 二輪・原付の運転免許を持っていて、二輪・原付を利用している 6. 運転免許はすでに返納した 7. 運転免許を持ったことがない
車での送迎を気兼ねなく頼める人の有無 (1つに○)	1. 家族にいる 2. 近所の人にいる 3. いない
外出の際の付き添いや介助の必要性 (1つに○)	1. 体に負担を感じることなく、自分自身で無理なく外出できる 2. 体はつらいが、何とか自分一人で外出できる 3. 自分一人で外出するのは難しいが、他の人の付き添いがあれば外出できる 4. 付き添いや介助があっても、外出するのは難しい

ご協力いただきありがとうございました。

図 4 調査票 (西畑有里線) 2/2

パソコンやスマートフォンから
もご回答いただけます → 
<https://logoform.jp/f/LayVV>

門前線の利用状況に関するアンケート調査

本アンケート調査は、コミュニティバスたけまる号に関する施策検討の基礎資料として活用するために、門前線をご利用されている方を対象に、普段のご利用状況についてお聞きするものです。

ご多用のところ、誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

■ご記入にあたっての注意事項

- ・調査結果の取り扱いについては、この調査以外の目的に使用することはありません。また、統計的に集計しますので、個人を特定することはありません。
- ・記入いただいた調査票は、降車時や次回利用時にドライバーに直接お渡しください。

■お問い合わせ先
 生駒市地域公共交通活性化協議会 事務局 生駒市 総務部 防犯交通対策課 公共交通係
 (担当) 菊池 城野
 電話番号 0743-74-1111 (内線 3420) FAX 番号 0743-74-1196

1. あなたご自身の門前線の利用状況についてお聞きします。

主な利用回数 (1つに○)	1. 週に5日程度 2. 週に2～4日程度 3. 週に1日程度 4. 月に2～3日程度 5. 月に1日程度 6. 年に数日程度
主な利用目的 (あてはまる全てに○)	1. 通勤 2. 通学 3. 銀行や役所など 4. 買物 5. 通院 6. 施設などへの通所 7. 仕事・業務での移動 8. 地域活動・社会活動 9. 趣味・娯楽・交流 10. その他 ()
主な乗降バス停 (各1つの番号を記入)	[(乗車バス停) ()] ⇒ [(降車バス停) ()] 1. 生駒駅南口 2. 健民グラウンド 3. 市民プール 4. クラヴィエマンション 5. 市民体育館 6. 梅寿荘 7. 門前駐在所 8. 清風寺 9. 門前町南 10. 門前町児童公園入口 11. フローラルマンション 12. メゾンドールマンション 13. 山崎新町 14. セイセイビル
主な目的地	例：○○病院、▲▲スーパー ()
主な利用曜日 (あてはまる全てに○)	1. 月曜日 2. 火曜日 3. 水曜日 4. 木曜日 5. 金曜日
主な利用時間帯 (各1つの番号を記入)	[行き] () [帰り] () 1. 8時台 2. 9時台 3. 10時台 4. 11時台 5. 13時台 6. 14時台 7. 15時台 8. 16時台 9. 17時台 10. 特に決まっていない 11. 利用しない

図 5 調査票 (門前線) 1/2

門前線を利用する理由 (あてはまる全てに○)	1. コミュニティバス以外の交通手段がないため 2. 家族等の送迎に頼らなくてもよいため 3. 徒歩での移動が大変であるため(坂道が急、距離が遠い等) 4. タクシーよりも運賃が安い 5. 自分で車を運転することに不安があるため 6. その他 ()
門前線を利用できない場合の移動手段 (1つに○)	仮に門前線が利用できなくなった場合 1. 代替りの移動手段がある → 2. 代替りの移動手段がない 副問) 代替りの移動手段を教えてください(あてはまる全てに○) 1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. バイク 4. タクシー 5. 自家用車(自分で運転) 6. 自家用車(家族等が運転) 7. その他 ()
門前線を利用できない場合の外出頻度 (1つに○)	仮に門前線が利用できなくなった場合 1. 外出ができなくなる 2. 外出頻度が少なくなる 3. 外出頻度は変わらない 4. 外出頻度が変わるかどうかは分からない

2. あなたご自身のことについてお聞きします。

お住まい	町名をご記入ください () 町)
性別 (1つに○)	1. 男性 2. 女性 3. 無回答
年齢 (1つに○)	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60~64歳 7. 65~69歳 8. 70~74歳 9. 75~79歳 10. 80~84歳 11. 85~89歳 12. 90歳以上
職業 (1つに○)	1. 有職 2. 専業主婦・主夫(パート有り) 3. 専業主婦・主夫 4. 学生(高校生以下) 5. 学生(短大生以上) 6. 無職
運転免許の保有状況・運転状況 (1つに○)	1. 自動車の運転免許を持っていて、自分が自由に使える自家用車を利用している 2. 自動車の運転免許を持っていて、家族で共有する自家用車を利用している 3. 自動車の運転免許を持っているが、自家用車を持っていない 4. 自動車の運転免許を持っているが、普段運転していない(できない) 5. 二輪・原付の運転免許を持っていて、二輪・原付を利用している 6. 運転免許はすでに返納した 7. 運転免許を持ったことがない
車での送迎を気兼ねなく頼める人の有無 (1つに○)	1. 家族にいる 2. 近所の人にいる 3. いない
外出の際の付き添いや介助の必要性 (1つに○)	1. 体に負担を感じることなく、自分自身で無理なく外出できる 2. 体はつらいが、何とか自分一人で外出できる 3. 自分一人で外出するのは難しいが、他の人の付き添いがあれば外出できる 4. 付き添いや介助があっても、外出するのは難しい

ご協力いただきありがとうございます。

図 6 調査票 (門前線) 2/2